

研究代表者 所属・職：国際福祉学部・准教授

氏 名：カースティ 祖父江

研究課題名：外国籍の子供たちの学習支援につながる子ども食堂の設立と利用者の状況の明確化

研究の概要

(1) 子ども食堂企画

NPO Smiley Dream が特定した地域課題（外国籍の保護者の子育てに関する困難や社会とのつながりの希薄から生じるメンタルヘルスの課題、子供の不就学など）に対して、本企画において、国際福祉開発学部の学生ボランティアなどを募り、子供たちの学習支援にもつながる「居場所作り」として「子ども食堂」を設立し、月 1 回運営する予定をしている。「子ども食堂」では外国籍の保護者も一緒に料理する予定であるため、料理を教える日本人ボランティアなども参加することを見込んでいる。また、地域の障がい者施設で作られている野菜などを寄付していただくことにより、さらに武豊町の町民の方々との繋がりを目指す。

今回の企画は「学習支援教室」というより「子ども食堂」として指定する理由は、その開催にあたり、日本社会に適応することに困難を感じている外国籍市民（保護者）が日本国籍のボランティアと一緒に食事を作って、食べることによって、自然な人間関係が芽生え、学校生活だけではなく、日本での生活に関わる悩みなどを幅広く話し合う場づくりを目指しているからである。同時に、学生が参加し、子供と一緒にゲームをしたり、簡単な勉強のお手伝いをすることによって、子供の学習支援にもつながる、総合的な親子に対する生活サポートが図られることを予想している。

(2) 調査企画

子ども食堂に参加する方のうち、日本社会と繋がりにくいと感じている外国籍の保護者の方にもヒアリング調査を実施し、日本での生活を困難にしている要因を抽出しながら解決策を導くために分析する予定である。

達成状況・成果内容

(1) 子ども食堂企画

NPO Smiley Dream における子ども食堂企画は次の通り開催された。

2022.5.15（日）

テーマ：日本のお米を食べよう。

内容：参加者はおにぎりを握って、味噌汁と一緒に食べた。参加者は日本人を含む 4 か国籍であった。ペルー人のお母さんのために、日本語教師養成課程に在籍している学生が日本語学習時間も設けた。

参加者：NPO スマイリードリーム 2 名、武豊町民 7 名、日福教員 1 名、日福学生 4 名

2022.6.18（日）

テーマ：好きなものかサンドイッチを作ろう。

内容：参加者は自分の好きな具からサンドイッチを作って食べた。参加者は日本人を含む5か国籍で、海外で育った小学生の兄弟などがいた。研究費で購入した子供のための日本語教材（フラッシュカードなど）を使って学習支援の時間を設けた。

参加者：NPO スマイリードリーム 2名、武豊町民 9名、日福教員 1名、日福学生 5名

2022.7.17（日）

テーマ：ベトナム料理を食べよう

内容：日福のベトナム人留学生3名が生春巻きの作り方を教えたうえ、みんなで作って食べた。その後、みんなでスイカを切って食べた。海外に行くのを控えて、隔離しているため参加できない子供には、ビデオ電話で通話をして色々な話をした。子供たちは、研究費で買った教材を使って日本語の練習をした。ペルーにルーツを持っている学生が、ペルー人のお母さんと、日本での子育て経験についてヒアリングを実施した。

参加者：NPO スマイリードリーム 3名、武豊町民 10名、日福教員 1名、日福学生 6名

2022.9.18（日）

テーマ：武豊のコミュニティーバスに乗る

内容：武豊コミュニティーバスの乗り方を理解するために、役場から図書館まで乗って、絵本の読み聞かせ、カードを使って勉強しり、おにぎりを食べる計画を立てたが、あいにく台風のためにキャンセルになった。

2022.10.16（日）

テーマ：お芋掘りと、ピザ釜を使って焼いたピザを食べます（場所は、Smiley Dreamではなく「ほがらか企画さんの畑」（武豊町）

内容：芋掘り（ほがらか畑にて）ピザを作って食べる（ほがらか事務所にて）おにぎりを作って食べる（ほがらか事務所にて）、子供たちと工作をする、缶パン配布。

参加者：NPO スマイリードリーム 4名、武豊町民 50名、日福学生 4名

2022.11.20（日）

テーマ：オレンジファミリーフェス（虐待防止週間イベント）に参加、参加者調査

内容：武豊町地域交流施設（温水プール横）にて、学生と教員がオレンジファミリーフェスにて活動を紹介し、参加者への「武豊での子育てについて」の調査をするブースを出した。Smiley Dreamの方は、親子ダンスワークショップも展開した。

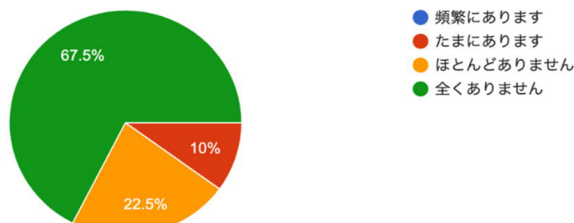
参加者：Smiley Dream 4名、日福教員 1名、学生 3名。2日間をかけたイベントなので、参加者の総人数は定かではない。

調査の結果としてわかったことの一つは、子育て中で武豊に住んでいる人は武豊のコミュニティーバスをほとんど使っていないということだった。そのため、武豊コミュニティーバスを使って、子育てに関係する施設に尋ねる情報をおまとめ、武豊コミュニティーバスを利用するためのマップを作成することに取り

組んだ。特に外国籍のお母さんたちは、定期検診やお子さんの予防接種へ行くためにタクシーを使っていることがわかった。

図1：武豊町で子育て中の町民へのアンケート結果：コミュニティバスに乗ったことはありますか？ (n=40)

武豊コミュニティバスは乗ったことがありますか？
40件の回答



2022.12.18 (日)

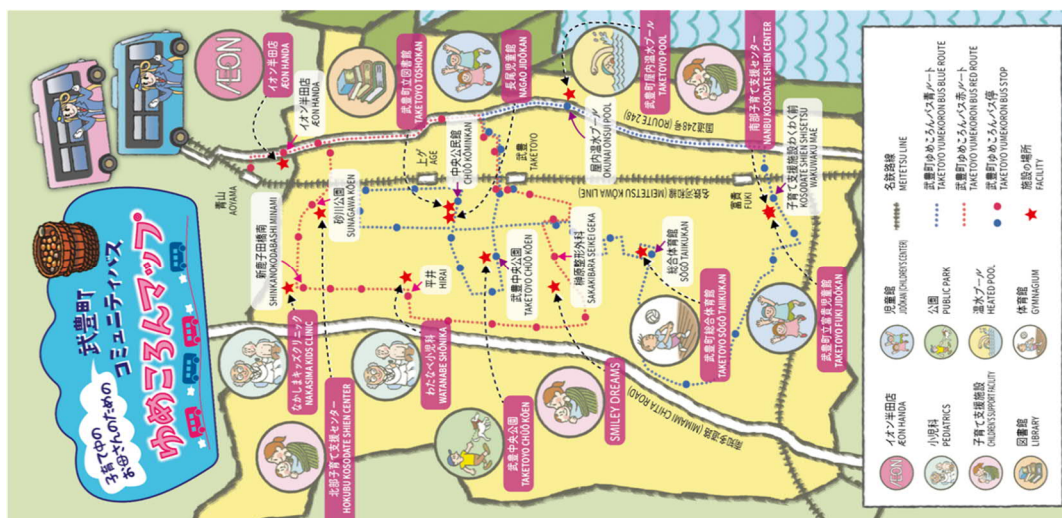
テーマ：クリスマス撮影会

内容：武豊町中央公民館で、クリスマスプチ撮影会や、射的ゲームを実施。ハンバーグをパンではさんで食べる。

参加者：Smiley Dream 3名、武豊町 20名程度、日福の学生2名

(2) 調査企画：武豊コミュニティバスの資料作成

2023年1月から1ヶ月をかけて、企画に参加している学生（カースティゼミの3年生）が武豊コミュニティバスと、子育てに関連する施設の位置を地図情報として調査した。その調査の一環として、武豊町の防災交通課の担当者ともミーティングをし、それをもとに、ゼミ生に各言語に翻訳してもらい、武豊町の多言語マップを作り、子育て中のお母さんたちがコミュニティバスを使って武豊町を移動できるような資料を作成した。





今後の展望

(1) 子ども食堂企画

この企画は武豊町において定着したと思われる、今後定期的に子ども食堂が開かれる予定である。2023年1月、2月にも Smiley Dream によっても実施された（学生は授業期間外で海外フィールドワークなどに参加している期間であったため、不参加であった）。今後、ゼミから興味のある学生ボランティアを募りつつ、不定期ではあるが日福からの参加を続ける予定ではある。

(2) 調査企画

成果物である武豊町コミュニティバスゆめころんマップは、Smiley Dream によって武豊町で多国籍の子育て中の保護者に対して配布される予定である。